

# どががが 大田市で おこる

大田市ふるさと情報誌

# VOL.26

2014.2



▲フリーペーパーを手に  
左から長坂さん、押越さん、水町さん

## フリーペーパー おおだびより

# Uターンした若者たちが発行

## 大田の「いいところ」を紹介しています

大田の「いいところ」情報が満載のフリーペーパー「おおだびより」。このほど、2刊目となる冊子を発行しました。これを編集しているのが、市内にUターンした若者4人のグループ「おおだびより」の皆さんです。

「おおだびより」は、県外からUターンした大田好きの4人（押越雪彦さん、水町香織さん、長坂響子さん、平井寿法さん）がメンバー。

イベントの開催や大田の話題を紹介するフリーペーパーの発行など、楽しみながら活動を続けています。

4人は平成24年に、空き店舗を利用した音楽イベントを開いたことをきっかけ

に集まり、活動をスタートしました。

### 大田の魅力を知ってほしい

イベント活動をしていくうちに「大田には多くのイベントを開催しているカフェやバーがあるが、それぞれが単独で宣伝している、もったいない」と感じていたそうです。

そこで、イベント情報を一括して得ることができ、情報誌を発信したいと、フリーペーパー『おおだびより』は出来上がりました。

『おおだびより』には、大田市のカフェやバーのイベント情報をはじめ、お店の情報など、大田の魅力が

書かれています。

また、「大田のいいところ取材」と題した、4人がお薦めする場所や人を紹介するコーナーには「こんな所や人がいるのか」と思わせるような面白い情報が満載です。

「今後は年4回の定期的な発行を目指し、さらにフリーペーパーの置く場所を増やして、もっと多くの人を読んでもらって、大田のいいところを知ってもらいたいです」と抱負を語ってくれました。

『おおだびより』は市内のカフェなどに置かれ、誰でも読むことができます。大田の魅力をもつけたいかたは、ぜひ一度、手に取ってみられてはいかがでしょうか。



▲おおだびより——大田 love がコンセプトの情報誌です



## 4市場を統合し 水産物卸売市場が完成

### 高度な衛生管理と鮮度維持

も増え、今後の販路拡大や販売単価の向上、良質な水産物の安定供給につながるものと、漁業関係者は新卸売市場の完成を喜んでいました。

新卸売市場の年間の水揚げは約8,200トン。県内のほか、広島や京阪神方面に出荷され、取扱金額は33億円を見込んでいます。

なお、島根県及び大田市では流通の迅速化と安全確保のため、現在、統合市場への接続道路の新設や周辺県道の改良工事を進めています。

市内4つの魚市場（久手、和江、五十猛、仁摩）を統合した「JFしまね大田水産物地方卸売市場」が、静間町の和江漁港に完成し、平成25年8月23日に竣工式、9月1日に初セリが行われました。

完成した卸売市場は、県内でも最高の衛生管理水準を誇る施設となっています。最新設備の高度な衛生管理と鮮度維持により、地元水産物のブランド力の向上が期待されます。

また、市場統合により集出荷の合理化が図られるほか、取扱量が安定することで仲買人

### ブランド力のアップに期待

# 耳より 情報局

## 大田市独自の 子育て支援事業

おじいちゃん  
おばあちゃんの

### 保育ボランティア

家庭でおじいちゃん、おばあちゃんと触れ合う機会が少ない子どもたちに、人生経験豊かな中高年の皆さんが昔の遊びを教えるなど、世代間交流を図っています。

現在65人の登録ボランティアのかたに絵本の読み聞かせや園庭の手入れ、畑仕事やお茶のお稽古など、特技を生かして活躍してもらっています。

保育ママ・ボランティアの問い合わせは、大田市役所子育て支援課（☎0854-83-8149）へ

# あなたの 子育て に 応援 します



### 保育ママ（家庭的保育）

大田市は、県内市町村で唯一保育ママ（家庭的保育）事業を行っています。

この事業は、保育士資格をもつかたを保育ママとして委嘱して、保護者が仕事や病気などで昼間保育できない3歳未満のお子さんを、自宅などで預かってもらうもの（写真）。

保育ママは、近くの保育園と交流をしながら、少人数保育を行っています。一般の保育園とは違う家庭的な環境で保育サービスが受けられると、保護者に好評を得ています。

## 大田市の中学生以下の医療費

|                         |     | 改正前     | 改正後 |
|-------------------------|-----|---------|-----|
| 3歳未満                    | 入院  | 無料      | 無料  |
|                         | 入院外 |         |     |
| 3歳～中学校卒業まで              | 入院  | 2,000円  |     |
|                         | 入院外 | 1,000円  |     |
| 20歳未満の慢性呼吸器疾患等11疾患群（※）  | 入院  | 15,000円 |     |
| 20歳未満の小児慢性特定疾患治療研究事業対象者 | 入院  | （県助成のみ） |     |
|                         | 入院外 |         |     |

上記金額はひと月の医療機関ごとの本人負担限度額

※ 慢性腎疾患、慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、膠原病、神経・筋疾患、悪性新生物、内分泌疾患、糖尿病、先天性代謝異常、血友病等血液・免疫疾患、慢性消化器疾患

お問い合わせ  
大田市役所健康保険年金課（☎0854・83・8154）まで

額助成します。  
また、対象範囲も拡大し、20歳未満の慢性呼吸器疾患等11疾患群の入院医療費を無料にするほか、島根県が実施している「小児慢性特定疾患治療研究事業」の対象者の本人負担額（費用徴収額）を全額助成します。

### 小児慢性特定疾患も対象

また、対象範囲も拡大し、20歳未満の慢性呼吸器疾患等11疾患群の入院医療費を無料にするほか、島根県が実施している「小児慢性特定疾患治療研究事業」の対象者の本人負担額（費用徴収額）を全額助成します。

# なんと！無料です

中学までの無料化は8市で初

これまで、3歳未満の乳幼児の医療費を無料化していましたが、今回、制度を改正し、中学校卒業までのお子さんの本人負担額を無料化します。中学校卒業までの医療費無料化は島根県内8市で初となります。



## 仁摩サンドミュージアム

大田から仁摩へと向かう道を進んでいくと突如としてピラミッドの形をした建物が現れます——仁摩サンドミュージアムです。このピラミッドの中には世界最大の一年計の砂時計が置かれています。

一年計砂時計は毎年、元旦の午前0時前に年男、年女が砂時計を回転させ時を刻み始めます——砂時計を回す年男、年女は、募集後1～2日で受付が終了してしまうほどの人気イベントとなっています。

仁摩サンドミュージアムには、若い女性を中

# 世界最大の砂時計



合計6基のガラスのピラミッドのうち最大のものは高さ21m、底辺が17m四方あり、この中に直径1m、高さ5.2mの世界最大の砂時計が納められています。落下する砂の量は、直径平均サイズ0.106mmの粒が1トン入っています。

心に毎年6万人以上の来客があります。また、以前、一人で来られた女性が、夫婦やカップルで再度訪れるリピーター客も多く、恋がかなうパワースポットと噂されています。



……もしかすると「日本で最も低い天井」かもしれませんね。感じさせてくれます。跨線橋の天井も山陰両県では最も低く……もしかすると「日本で最も低い天井」かもしれませんね。

マニアのかたはよくご存じで、列車から降りて写真を撮られるかたもおられます。

# 日本最古です

## 跨線橋の鑄鉄製門柱

### J R 大田市駅

J R 大田市駅のホームにかかる<sup>こせんきょう</sup>跨線橋の門柱は、明治23年（1890年）に造られた日本最古の鑄鉄製の門柱です。

跨線橋の入り口には、帝国鉄道庁神戸工場で製造された日本最古の門柱であることを示すプレートが飾られています。また、柱の脇には「1890」の文字が記されています。

ちなみにJ R 大田市駅は大正4年（1915年）7月11日に開業。来年は開業100年を迎えます。

## 知る人ぞ知る「日本一」です



J R 大田市駅 駅長  
板持三津郎 さん

大田が唯一？のネタをご紹介します

# ここだけ 大田

大田町の彼岸市「中日つあん」の名物となっているジュース自動販売機。機械の上にあるガラス容器の中で、オレンジジュースが噴水のように噴き上がるめずらしさと、一杯10円の安さから、いつも子どもたちが列をつくっています。

所有しているのは「さんべ食品工業株式会社」



彼岸市「中日つあん」  
いつも子どもたちでいっぱい



天ぷらまんじゅうを料理してくださった  
JA石見銀山女性部 部長  
森脇 岸江 さん

大田に嫁入りして、初めて天ぷらまんじゅうを見たときは、びっくりしました。でも、食べるとおいしくて2度驚いたことを覚えています。  
いまでもお祭りのときには欠かさず作っています。大田独特の料理ですから、若い皆さんにも受け継いでほしいですね。

さんべ食品工業株式会社

## 噴水式自動販売機

## まだまだ現役



社長の勝部邦彦さん。父である先代の社長がこの自動販売機を購入してから50年以上、彼岸市で働き続けています。

ガラスの部分は取り替えられていますが、その他の部分は購入当時のまま。現役の噴水式自動販売機は日本でここだけです。そして、このことが多くのメディアに取り上げられたため、大阪や九州からの問い合わせや、動く姿を見に訪れるかたもいるそうです。

また、ジュースも地元の甘夏や八朔の果汁を使用しており、ここでしか味わうことができません。

時代を超えて子どもたちの人気を集める噴水式自動販売機。「動かなくなるまで『中日つあん』に出し続けます」と勝部社長は話しています。

## 極めてコアな郷土料理

### 天ぷらまんじゅう

紅白まんじゅうに天ぷらの衣をつけて揚げた「天ぷらまんじゅう」は、「箱寿司」(押し寿司)と並んで大田のお祭りに欠かせない料理です。

まんじゅうの皮の赤と白、あんの黒と緑、衣の黄の五色はそれぞれ、火と金、水、木、土を表し大地を象徴しているとか、方位や五臓六腑を意味しているとか……諸説ありますが、見た目にも鮮やかな「天ぷらまんじゅう」は、おめでたい料理として、この地方に古くから受け継がれてきました。

県内でも大田以外では、まんじゅうを天ぷらにして食べる場所はないようです。また、市内でも温泉津地域では、食べる習慣はないとのこと。とっても狭い範囲の郷土料理です。

伝統の料理を受け継いでほしい

## 日本料理人 片地六治郎

大田町で「懐石 松浦屋 与兵衛」を営む日本料理人の片地六治郎さんが昨年11月3日、秋の褒章で黄綬褒章を受章されました。

黄綬褒章は「業務に精励し衆民の模範である者」に対し授与されるもの。受賞を受け片地さんは、「大変光栄です。この名誉に恥じることはないよう、皆さんに喜ばれるよう今後も精進し、おいしい料理をお出ししたい」と話しています。



黄綬褒章の授与式にて——  
片地六治郎さん(左)と妻のさよ子さん(右)



### 懐石 松浦屋 与兵衛

大田市大田町大田口1328-6

営業時間 11:30~14:00

17:30~20:00

《定休日：不定休》

TEL：0854-82-7663

※事前に予約が必要です

# 日本料理の魅力を次代につなげる



水揚げするとすぐめることで、心地よい歯ごたえと柔らかさが共存する地元産の新鮮な鯛。

「小さな魚は獲れたてが、大きな魚はすこし熟成時間を置くとおいしい」と片地さん。魚に体温を伝えることなく、巧みな包丁さばきで、鯛は椿の花へと姿を変えていきます。

片地さんは16歳のときに日本料理への門を叩き、そして73歳になった今も、この道を歩み続けています。これまでいくつものお店を通して、たくさん職人に師事し料理人としての腕を磨くと同時に、日本料理のあり方についても研究を続けてきました。

「日本料理と季節は密接な関

係にあり、使う食材、調理法、盛り付け、あるいは部屋に飾る草花(茶花)ひとつをとっても、すべてが季節と結びついています」と片地さんは言います。

ここでいう季節は春夏秋冬の四季ではなく、立春・立秋、冬至・夏至などで表される「二十四節気」を、さらにそれぞれ3つに分けた「七十二候」を指しています。



# 熟練の技でおもてなし



かたしろうくしろう  
片地六治郎さん (73)

16歳から日本料理人として修業を重ね、平成2年に「懐石 松浦屋 与兵衛」を開店。以来20年以上にわたって、熟練の技に裏打ちされた旬の料理を提供し、県内外から訪れるお客の目と舌を喜ばせています。

片地さんは「全国日本調理技能士会連合会 名匠師範」の称号のほか、その卓越した技能から「現代の名工」に選ばれ、また大田市のものづくり名人にも登録されています。そのうえ、食育にも注力されており、専門調理食育推進指導員の資格も持っておられます。



彩り鮮やかに盛り付けられた料理  
右から鯛の椿のお造り、季節の野菜の  
煮物(上)、糝薯(しんじよ)のお吸  
い物

旬の素材の味を生かすこと  
——そして、「さりげなく」  
季節を感じてもらうことが  
日本料理にとって一番大切  
なことではないでしょうか

「季節に応じた料理をお出しすること」。そして「同じ料理をお客さまに出さないこと。いつ訪れても違う料理がたべられ、お客さまを飽きさせることがなく、また来たいと思ってもらえるようなおもてなしをすること」片地さんは良い日本料理人をこう定義しています。

常に新しい料理を食べてもらいたいというお客へのおもてなしの心と、料理に対する信念から、「与兵衛」では、1か月ごとに「お献立」を変えています。遠方から片地さんの料理を楽しみに、もう何年も月に一度必ず訪れる常連客もいるそうで、そんな馴染みのお客さんに対して、けっして同じ料理を出すことはありません。

また、同じ月でも、今年は昨年とはちよつと違う……移りゆく季節のように片地さんの料理は千変万化していきます。

## 数多くの称号が

### 日本料理への姿勢の証し

片地さんは「現代の名工」や「全技連マイスター」さらに「全国日本調理技能士会連合会名匠師範」など、いくつもの称号を拝しています。これら一つひとつが、長い料理人人生の中で日

本料理を研鑽し続けてきた証となっています。

そして現在、これまで積み重ねてきた経験と知識を惜しみなく使い、地域の「料理・食」の発展にも取り組んでいます。

お店での至極の料理のおもてなしはもちろん。料理人仲間と石見銀山郷土料理研究会を立ち上げ、郷土の料理を深く研究されているほか、大田市のものづくり名人(※)として、後進の育成に努めたり、地元の子供たちへの食育を行ったりと、日本食の魅力を次代につなげるため、忙しい毎日を送っています。

## ※ものづくり名人

——ものづくり名人出張教室  
大田市の産業を支える技能・技術者の中から特に優れたかたを「大田市ものづくり名人」として登録しています。

登録されたかたは技術・技能の継承、次代の担い手の育成に努め、学校やさまざまな団体からの要望に応じて、ものづくり名人として出張教室を行っていらっしゃいます。  
現在、片地さんを含む11人を「ものづくり名人」として登録しています。

# 大田市の神楽団 大江高山神楽社中

(大田市大代町)

戦後間もない昭和23年頃、大代町にある山邊八代姫命神社の氏子有志が、川本町の三谷神楽団から教えを受け、石見神楽団を結成しました。

昭和29年、浜田市の細川産業で衣装一式を作った際に、初代店主から「大江高山神楽社中」の名前をつけていただきました。その後、過疎化と高齢化により団の存続が危ぶまれた時期もありましたが、地域の子どもたちへの神楽指導を行うなど、大人から子どもまで幅広い世代を巻き込みながら、これまで絶やすことなく活動を重ねています。

今では、地元大代町外からも神楽の好きな子どもたちが加入してくれて、団が一層活性化してきました。現在の団員は、大人、子ども合わせて27名で頑張っています。練習は、週2回（金、土曜日の夜）、山邊八代姫命神社の遙拜所で、年間を



通じて行っています。公演の場としては、地元神社の例大祭、正月の新春神楽など大代町における公演活動をはじめ、近年の神楽ブームも相まって、市内外のイベントなどに招かれることもあり、年間、40回ぐらい公演に出向いています。以前では考えられないほど多くの公演をさせていただくようになりました。

また、毎年盆には、大代町において、都会から帰省された方々との交流イベント「都市とふるさとを結ぶ交流会」が開催されており、その際に神楽を披露していますが、大変好評で、ふるさとを懐かしく思っただけのひと時を持たせていただいています。

私たちは、今後も地元大代町に根差した石見神楽社中として、「日々研鑽を重ね、石見神楽の源流を追及していく」をモットーに、そして楽しく活動をしていきたいと思っています。

是非、一度ご覧ください。

(大江高山神楽社中一同)

皆さんにご協力いただきましたゆるキャラグランプリ2013の投票結果が平成25年11月24日発表されました。

今回は企業枠も設けられ1,580体がエントリーしていました。

そのたくさんのキャラクターの内、らとちゃんは21,860票で123位！（昨年865体中10,310票105位）順位はキャラクター数も増えており、昨年と比べると下がっているように見えますが、投票数は昨年の2倍以上です。

たくさんの皆さんが応援してくださったおかげです。今後とも引き続き大田市のマスコットキャラクター「らとちゃん」をよろしくお願ひします。



本当にうれしく  
思っています。  
ありがとうございました。



## シリーズ石見銀山②⑥ 町並み保存地区を歩く 「温泉津らしさ」を生かしたまちづくり

冬の石見銀山は、多くの人々で賑う夏場の光景とは一味異なり、静かで凛とした情感があります。温泉津の温泉宿では、冬寒の中で散策を楽しんだ方々を心身ともに温かく迎えています。

世界遺産の主要な構成資産である大田市温泉津伝統的建造物群保存地区（以下、温泉津地区）は、温泉津湾の入江から延びる谷筋に沿って形成され、近世の地割や自然地形を生かした土地利用をよく残しており、漆喰塗の土蔵造町家や門塀付きの屋敷、洋風意匠の住宅、木造三階建の旅館、寺社建築など、江戸後期から昭和初期における各時代の特徴を備えた多様な建築物が良好に現存しています（写真①）。

温泉津地区は、現在全国に106地区ある国の重要伝統的建造物群保存地区の中ではただ一つ、「温泉町」として平成16年に選定を受け、今年で10周年を迎えます。平成26年度からは保存地区において温泉津らしい文化財と暮らしの両立を目指し、防災施設の整備を含む環境整備事業が始まります。

温泉津地区は、高齢化の進む地区ではありますが、「はんど」（丸物）と呼ばれる大きな水甕みずがめで全国に知られた温泉津焼を継承する窯元、ふるさと温泉津で神楽社中を結成し、神楽の原点

写真① 歴史的建造物  
（上：近世、下：近代）



写真② 夜神楽に集う人々  
（龍御前神社）

を大切にしながら夜神楽や海神楽などを催して伝統芸能の継承に励む温泉津舞子連中、一軒貸の宿を整備するなど歴史的建造物の魅力を生かして賑わいづくりに取り組む温泉宿など、先人から受け継いだ地元の伝統技術や文化的魅力の継承に汗をかきながら地域の活性化に挑む若い担い手たちが、少しずつ町に灯りをともしつつあります（写真②）。

昔と何らかわることのない美しい日本海と地元産の酒と魚、ほっこりする温泉、勇壮な神楽、味わいのある焼き物、世界遺産の歴史的町並みで昼夜展開される“まちづくり”の楽しみは始まったばかりです。

【問い合わせ】大田市教育委員会教育部石見銀山課  
☎ 0854-83-8133

## らとちゃん劇場③



## ゆるキャラグランプリ2013



得票は昨年の倍と大健闘  
応援ありがとうございました

# 住まい探しはこのページ

## おおだ空き家情報

平成26年1月21日現在



大屋町 賃貸2万円  
／売買120万円

市内中央の山間部に位置する日当たり良好な建物です。



久利町 売買150万円

大田市役所から車で7～8分の場所に位置する昭和2年築の古民家住宅です。



大田町 売買550万円

大田市役所から徒歩で10分程の場所にある築137年の古民家住宅です。



三瓶町 売買600万円

国立公園三瓶山の麓に位置するお寺と庫裡で、本堂からは三瓶山の山頂が見える日当たりの良い物件です。



大代町 売買430万円

山間部に位置する日当たりの良い物件です。通りに面したこじんまりとした住宅で小家族のかたにお勧めです。

Uターン、Iターンなど定住についてのご相談や空き家情報についてのお問い合わせは、『おおだ定住支援センター』までお願いします。

空き家物件の現地案内もいたします（物件所有者との調節が必要ですので、必ず事前の連絡をお願いします）。

今回掲載されていない物件もあります。詳しくはお問い合わせください。なお、空き家情報は“おおだ”定住サイト『どがどが』でご覧いただくことができます。

**どがどが 検索**

### 「空き家」を有効活用されませんか

大田市内にまだまだ使える空き家を所有してはいませんか？「空き家」を活用することは、家を適切に管理することであるとともに、定住人口の増加や地域の活性化へとつながります。

皆さんの大切な資産である「空き家」を有効活用されませんか？

おおだ定住支援センター（大田市役所まちづくり推進課 ☎0854-83-8029）に相談ください。



大森町 売買450万円

世界遺産石見銀山のある大森町の町中にある明治9年築の古民家住宅です。



仁摩町 売買500万円

県立邇摩高等学校から徒歩で2分程の場所に位置し、田圃の平坦地の中にある日当たりの良い即入居可能物件です。



仁摩町 売買200万円

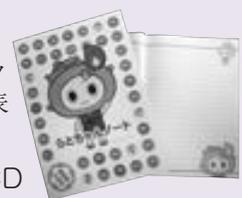
鳴き砂で知られている仁摩町馬路の琴ヶ浜沿いに位置する物件です。



### 新しい「らとちゃん」グッズできました

らとちゃんノート（右）

大田市マスコットキャラクターらとちゃんの様々な表情が描かれています。



らとちゃんソングCD + ダンスDVD（左）

大田市マスコットキャラクター「らとちゃん」CD+DVDが発売しました！



マーブクーヘン（右）

はちみつと生クリームを入れしっかりとっています。石見銀山の間歩（坑道）をもじってバームクーヘンをマーブクーヘンと名付けました。



ゆるキャラオールスターめぐり2014（左上）おなじみの人気ゆるキャラから、地元愛のレアなゆるキャラまで106体。「らとちゃん」も載っています！

みんな待っとるでな～

## おおだ 情報BOX

### 石見銀山 梅まつり

3月16日(日)

・石見銀山公園(大森町)

石見銀山で働く坑夫たちを鉱山病から守った梅。今でも大森には梅の木がたくさんあります。

春を告げる梅の花が見頃を迎えるなか、イベントが行われます。

【問】大田市観光協会

☎0854-89-9090

### 仁摩中学校閉校式 記念イベント

3月22日(土) 13時から

・仁摩中学校体育館

今年度末で閉校となる仁摩中学校で閉校式が行われます。

イベントでは、町民卒業生代表による「思い出トーク」や宅野神楽などが予定されています。

【問】仁摩中学校

☎0854-88-2006

### 春の彼岸市「中日つあん」

3月21日(金・祝)・22日(土)

・大田市駅通りなど

彼岸の縁日に、お寺の境内で物々交換をしたのが「市」の始まりで、400年以上の歴史を持つ大田市の伝統行事です。

植木市など、当日は大田市駅から約1.5kmにわたり、約250の露店が並びます。

【問】大田商工会議所

☎0854-82-0765

### 温泉津中学校 閉校式・閉校記念式典

3月22日(土) 9時から

・温泉津中学校

今年度末で歴史を閉じる温泉津中学校で閉校記念式典が行われます。卒業アルバムをもとにつくら

れたスライドショーの上映などが予定されています。

【問】温泉津中学校

☎0855-65-2563

### 三瓶山西の原火入れ

3月25日(火)

・三瓶山西の原

三瓶山の防火対策と草原の維持再生を目的に毎年この時期に行われます。大草原に立ち上がる炎は



見る者を圧倒し必見です。

※見学自由

【問】大田市役所農林水産課

☎0854-83-8085

### 三瓶山山開き



4月20日(日)

・三瓶山西の原

登山シーズンを迎える三瓶山の登山安全を祈念し、三瓶山山開きが行われます。普段登るきっかけがないかたも、この機会に三瓶登山してみませんか。

【問】大田市観光協会

☎0854-89-9090

### 田植え体験ツアー



5月17日(土)

・三瓶町池田

参加料 大人3,500円(送迎有)

子供2,500円

田植えばやしを聞きながらの田植え体験のほか、山菜採り、三瓶温泉などをお楽しみいただけます。

松江・出雲発着送迎バス有り

【問】三瓶米づくり体験ツアー実行

委員会 ☎0854-83-2168

(池田まちづくりセンター内)

### 酒仙蔵人・五郎之会 酒米(亀の尾)の田植え

5月上旬

・温泉津町西田地区の水田

幻の酒米「亀の尾」の田植えを行います。世界遺産石見銀山遺跡の「銀山街道」にある温泉津町西田集落「よづくの里」——柵田が残る風景の中での田植え体験。全国でここだけの取り組みです。

飛び入り参加も大歓迎です。

【問】若林酒造(有)

☎0855-65-2007



### 石見グランfond2014

5月11日(日)予定

・久手海水会場

(受付、スタート・ゴール会場)

参加費 未定

※事前申し込みが必要です

石見地方の絶好のロケーション

の「石見山塊住環コース(200km)」などを駆ける、自然と石見の歴史文化を体感するサイクリングイベントです。

【問】NPO法人サイクリストビュー

☎0852-21-3920

# ふるさととは今

## さひめやまじんじゃ 佐毘売山神社【大森町】

佐毘売山神社は、鉾山の守り神である金山彦命かなやまひこのみことが祀られています。佐毘売山神社は別名で「山神社」といわれ、鉾夫や村人からはしたしみを込めて「山神(さんじん)さん」と呼ばれていました。

1434年、室町幕府の命によって周防国(山口県)守護大内氏が現在の島根県益田市から分霊を移し祀ったとも伝えられており、戦国時代には銀山を領有した大内氏、尼子氏、毛利氏などに崇敬されてきました。また江戸時代には幕府領(天領)であったことから幕府の初代石見銀山奉行として赴任した大久保石見守長安などに手厚く保護され、毎年正月10日には、銀山の繁



栄を祈願しました。

正月の大盛祈願は早朝、神職が銀の積み出し港であった鞆ヶ浦に赴き、そこから「塩鯖、塩水(海水)、海藻」を持ち帰って神前に供え、海藻を介して酒を社殿の扉に注ぎかけるという独自の所作を行っていたといわれています。

拝殿は二層構造となっており外観は二階建てで、拝殿と社殿が一体的に続く権現造りの構造になっています。社殿は文政元年(1818年)の大火で消失しましたが、翌年には代官所の援助を得て本殿、幣殿、拝殿、神楽殿などが再建され、特に拝殿の重層屋根は天領特有なものとなっています。

(参考：佐毘売山神社を守る会ホームページ)



### 佐毘売山神社 への行き方

JR山陰本線大田市駅から大森・大家線バスで「大森」下車(乗車時間30分)。

自家用車の場合は石見銀山センターに駐車後、「大森代官所行き」または「大田バスセンター行き」のバスで「大森」下車(乗車時間5分)。

## 表紙 あの時～「片腕の松」の風景(三瓶町)～

表紙の写真は片腕の松の写真です。当時を知る前坂定美さんにお話を聞きました。

片腕の松周辺は草ばかりの草原地帯で多くの農耕用の牛が放牧されていました。片腕の松の周辺にある大きな水たまりは当時、一年中あったため、そこを水飲み場として牛は集まっていました。放牧されていた牛は三瓶に住む住民の牛で、各家庭に何頭かの牛を飼っているのが当たり前だったそうです。各家庭に牛がいたため、自分の家の牛がどの牛なの判別がつくよう牛の毛を持ち主の名前にカットをしたりと工夫をしていたそうです。しかし、牛はどこが家なのか分かっていないようで、夕方になるといつのまにか家に帰って来ていることもあったそうです。

三瓶山の西の原は、陸軍の演習場所として使われていました。演習の障害になるということで大きな枝を切り、「片腕の松」と名付けられたとされています。

片腕の松は、枯れてしまい倒れる危険があるため平成18年に伐採されてしまいましたが現在は、2世松の苗が植えられています。



▲2世松の植樹祭の様子

この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行／大田市役所総務部まちづくり推進課 TEL：0854-83-8029 FAX：0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail：o-matidukuri@iwamigin.jp <http://www.city.ohda.lg.jp/>

「おおだ」の定住サイト「どがどが」 <http://www.teiju-ohda.jp/>

どがどが 検索